

田原本町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標1 賑わいと活力があふれる「しごとづくり戦略」

数値目標の評価

指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課
			目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込					
事業所等の開設件数	件	38	32	32	32	32	32	S: 目標値を超えて達成	企業誘致や商工会と連携による創業セミナーや個別相談等の創業支援を推進。	スタートアップ誘致や、既存事業者の第二創業の支援に取り組んでいく。	かせぐ地域課
			43	58	34	22					
商工会加盟事業者数	事業者	547	560	560	560	560	560	A: 80%~100%の達成	物価上昇等に伴い会費を上げたことにより、入会者数を退会者数が上回り、会員数が減少。	デジタルツールなどの活用を推進し、青年部の活動などと合わせ、若年層の経営者などの支援を強化する。	かせぐ地域課
			564	574	549	573					

KPI (重要業績評価指標) の評価

施策	指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
				目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
(1) 事業者支援	①企業誘致の推進 ②中小企業の経営支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数(累計)	人	6	6	8	10	12	14	S: 目標値を超えて達成	奨励金の交付対象3事業者のうち、1事業者が目標を上回る4名雇用したため累計で達成に至った。	県と連絡調整を密にし、パンフレット等で周知を強化するなど申請の支援に取り組む。	かせぐ地域課
					6	6	11	11					
	③ブランド力の強化 ④商業の活性化支援	中小企業資金融資件数	件	7	20	30	40	50	50	S: 目標値を超えて達成	コロナ禍を経て、中小企業の活動が活発化しており、地元金融機関も積極的に支援を行っている。	金融機関や商工会と連携して、情報発信を強化し、利用促進に取り組む。	かせぐ地域課
					48	31	46	30					
		県で認定された大和野菜の生産品目数(累計)	件	1	2	2	2	2	2	C: 20%~60%未満の達成	大和野菜の認定には、戦前から生産されていることや、特徴的な栽培方法であることなどの要件があり、新規認定は難しい。	県認定以外の認証制度(民間を含む)について研究する。	かせぐ地域課
					1	1	1	1					
	特産品等の開発件数【R6年度まで】	件	R4年度から開始	3	3	3	3	3	C: 20%~60%未満の達成	補助制度の周知に努めたが、申請が1件に留まり、低い達成度となった。	金融機関や商工会と連携して、情報発信を強化し、利用促進に取り組む。	かせぐ地域課	
	0	1	1										
	スタートアップ定着数【R7年度から】	社	R7年度から開始	-	-	-	2	3				かせぐ地域課	
	-	-	-	0									
(2) 人材確保・育成	①農業の担い手の育成 ②起業の支援	認定新規就農者数(累計)	人	9	11	12	13	14	15	A: 80%~100%の達成	相談があった1名について協議を進めており、R7年度に認定の予定。	1名の認定手続きを進める。また、新たに希望のあった2名の就農に向け、農地の確保等に取り組む。	かせぐ地域課
					11	11	11	14					
		農地バンク登録農地数(累計)	筆	2	8	15	17	19	20	S: 目標値を超えて達成	高齢化や相続に伴い、相談や登録が増えている。	登録数の増加に加えて、担い手とのマッチングに取り組む。	かせぐ地域課
					41	50	45	78					
		認定農業者数(累計)	人	49	51	52	53	54	55	S: 目標値を超えて達成	規模拡大を図る農業者や若手農業者を中心に、制度周知と勸奨を行った。	引き続き、地道に登録に向けた働きかけを行っていく。	かせぐ地域課
					51	51	54	49					
	利用権が設定された農地面積【R6年度から】	m ²	48,705(R5)	-	-	50,000	50,000	50,000	A: 80%~100%の達成	中間管理機構と連携し、担い手への集約に取り組んでいる。	地域計画の策定をきっかけに、担い手への集約を進める。	かせぐ地域課	
	-	-	42,397	33,621									
	推進する作物の耕作面積	ha	0.9	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	B: 60%~80%未満の達成	連作障害があるため、圃場の確保が困難。	首都圏でのPRなどによりブランド力の強化に努め、生産者の増に取り組む。	かせぐ地域課	
	0.8	0.6	0.8	1.1									

田原本町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標2 つながり築き新たな人の流れを創る「つながりづくり戦略」

数値目標の評価												
指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
			目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
社会増減数	人	91	0	0	0	0	0	S: 目標値を超えて達成	R元年度からプラスに転じて以降、プラスを維持し続けている。	引き続き社会増となるよう、町の魅力向上につながる取り組みを継続して実施する。	企画財政課	
			84	79	16	-						
来訪者数	人	287,264	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000	S: 目標値を超えて達成	集客の中心となる道の駅・公園やぎおん祭りなどの来訪が増加し、全体として目標達成できた。	道の駅と史跡公園の指定管理者との連携をさらに密にし、両施設を中心に更なる集客に努める。	かせぐ地域課	
			500,778	446,514	475,397	485,628						

KPI (重要業績評価指標) の評価

施策	指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
				目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
(1) 移住・定住支援	①定住支援の補助 ②空き家の利活用促進	定住支援に伴う補助認定世帯数(累計)	世帯	15	33	42	52	55	58	A: 80%~100%の達成	家賃補助制度の継続利用が2件、利子補給制度の利用が1件あり累計値で目標通りとなった。ただ、R6年度は中古住宅取得助成金の申請がなかったこと等より、更に各制度の周知等を進める必要がある。	引き続き中古住宅取得助成金及び新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度を継続し、更なる定住支援を進めると共に、その他制度等については状況を踏まえ検討する。	まちづくり建設課
					39	49	52	53					
	空き家等の適正管理・空き家バンク売買等成立件数(累計)	件	20	40	50	60	70	80	S: 目標値を超えて達成	6件の空き家等について適正な管理通知等を送付した結果、現在手続き中の1件を除き対応をいただき改善できた。また、空き家バンクは1件の成立はあったが、新規登録が減少傾向で更なる掲載に向けた働きかけ等を進める必要がある。	空き家等を継続的に適正な管理するための対策に加え、民間事業者、地域、自治会等と連携し、利活用を推進していくための取り組み方について検討する。	まちづくり建設課	
				45	56	63	78						
(2) 交流人口創出	①観光の受け入れ体制の強化 ②まちの魅力の情報発信	奈良県広報誌・新聞・フリーペーパー等を活用した発信件数	件	136	138	141	144	147	150	A: 80%~100%の達成	発信件数は向上し、目標に近づいた。大部分は報道機関への情報提供であり、記者発表件数(R5: 27件、R6: 38件)と平時の投げ込み件数(R5: 53件、R6: 56件)が増加した。町の魅力を広範囲に発信できる手段として、引き続きマスコミへの情報提供を積極的に行う必要がある。また、FMラジオの放送が始まったことで、情報発信の機会が格段に増えている。	各課や田原本まちづくり観光振興機構などをはじめ、各種機関と連携し、多様なメディアを訴求対象や内容により効果的に活用して、町や地域の取り組みの情報発信を行う。	秘書広報課
					115	105	134	157					
	③歴史資源を活かした交流の促進 ④イベントによる交流の促進	唐古・鍵遺跡史跡公園の来園者数	人	69,342	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	S: 目標値を超えて達成	令和6年度は大型のイベントは少なかったものの、中・小規模のイベントが25件開催され、来園者数は目標を上回ることができた。	史跡公園使用料の半額を指定管理者に報奨金として支払う制度を導入し、さらなる賑わい創出を目指す。	文化振興課
					167,942	133,034	98,491	99,530					
	唐古・鍵考古学ミュージアムの来館者数	人	5,741	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	S: 目標値を超えて達成	企画展「宮古平塚古墳にみる王権」、ミニ展示4本のほか、ワークショップを5回実施したことで、来館者が増加したと捉えている(R5企画展1、ミニ展示1、ワークショップ等3)。	町民をはじめ、これまでミュージアムに来館しなかった方でもミュージアムに足を運んでいただけるよう、様々な角度から情報発信をおこなう。	文化振興課	
				7,909	6,920	8,875	9,015						
他団体や民間等との連携によるPRイベント等の実施、出展回数	回	1	5	5	5	5	5	S: 目標値を超えて達成	他自治体と連携し、リアルでは体験型イベントを、デジタルではSNSでの観光名所をそれぞれPRを実施した。	継続して他自治体との連携を深め、積極的に当町の魅力発信を行う。	かせぐ地域課		
			7	6	7	6							
(3) 関係人口創出	①ふるさと応援寄附金の推進	ふるさと応援寄附金の件数	件	2,530	3,400	3,800	4,200	4,600	5,000	A: 80%~100%の達成	目標未達ながら前年度より伸張。取扱品目の開拓や事業所への細かな対応などに努めた。	引き続き返礼品の品目拡大や掲載サイト上での表示の工夫などで取り扱い拡大を図る。	かせぐ地域課
					3,574	2,769	3,498	3,621					

田原本町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標3 結婚・出産・子育てをまち全体で支える「子育て環境づくり戦略」

数値目標の評価											
指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課
			目標	実績	実績	実績					
年少人口	人	3,768	3,662	3,607	3,528	3,457	3,388	S: 目標値を超えて達成	住宅整備や、子育て支援策等の周知により子育て世帯の転入が転出を超えて微増している。	住宅開発が落ち着き、今後は横ばいから減少傾向に入ると思われる。子育て支援策の充実や、相談体制の拡充に努め、子育て親子の安心と住み続けたい町づくりを取組の目標とする。	こども未来課
			3,707	3,675	3,652	3,619					

KPI (重要業績評価指標) の評価

施策	指標名	単位	R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
			基準	目標	実績	実績	実績						実績見込
(1) 結婚・妊娠・ 出産支援	①結婚支援 ②子どもと親の 健康確保	結婚に関する相談件数 【R6年度から】	件	8 (R5)	-	-	9	11	13	B: 60%~80%未満の達成	広報紙にて、特集や相談日程を掲載し、周知に努めた。相談に来られた方の半数以上が広報にて事業を知ったと言っており、事業認知に効果があったものと思われる。	引き続き広報等の媒体を用い、相談受入れ体制の拡充に努めたい。	こども未来課
				-	-	6	12						
		生後4ヵ月までの 乳児の把握率	%	100	100	100	100	100	100	A: 80%~100%の達成	令和4年度末に開始した出産子育て応援交付金の申請に妊娠中・出産後の面談が必須となっていることから、出産後の訪問や面談の実施率は100%となっている。また、令和6年9月にこども家庭センターを開設し、児童福祉と母子保健の分野が一体となって妊娠から計画的に支援介入することができている。	伴走型支援として妊娠中からの状況把握に努め、必要な支援・サービスに繋げる。出生届出時面接内容及び産婦健康診査受診・産後ケアの実施結果に基づき、電話訪問や家庭訪問等の支援介入を実施する。	こども未来課
					100	100	100	100					
(2) 保育・教育環境 充実	①保育・幼児教育の 提供体制の充実	待機児童数	人	4	2	0	0	0	0	D: 20%未満の達成または全くできていない	令和6年4月に小規模保育所を新設開所したが、利用定員が増員した以上に保育ニーズが高まったため待機児童数の目標値を達成しなかった。	待機児童解消の対策として、一時預かり事業を拡充し、待機児童の受け皿としての機能を高める。併せて、小規模保育所の新設と2号の利用定員を町立認可園にて増員する取り組みを行う予定である。	こども未来課
					2	1	5	22					
	②子育てと 社会生活の両立支援	ファミリーサポート 登録者数	人	32	56	56	56	58	60	S: 目標値を超えて達成	昨年度比で依頼会員は21人増、援助会員は9人増となっている。しかし実働援助会員が25人前後と会員一人当たりの負担が増えてきている状況にある。	実働可能な援助会員数を増やしていくとともに、特定の援助会員にサポートが集中することを避けるよう調整していく。	こども未来課
					84	120	150	168					
	③教育の推進	自己肯定感を感じている 子どもの割合	%	76.34 (R3)	78	78	79	79	80	S: 目標値を超えて達成	授業形態の変化により“できた”“わかった”が実感できる活動が増えている。また、校内外でのカウンセリング体制の充実を推進した。	町教育大綱の見直しを進めており、自己肯定感を高める教育を、基本方針の柱に据える予定。	教育総務課
					74.78	82.73	81.03	83.82					
	他者との協働や共生について 考えている子どもの割合 【R6年度から】	%	72.63 (R6)	-	-	72.63	74	75	A: 80%~100%の達成	コミュニティスクール活動の活性化に加えて、町役場職員を含めた地域人材による出前授業の増により、地域社会のことを考える授業が増えた。	引き続きコミュニティスクール活動などを推進する。	教育総務課	
				-	-	72.63	76.89						
	学校教育における ICT機器の活用 【R6年度から】	%	81.29 (R6)	-	-	81.29	83	84	A: 80%~100%の達成	校内ネットワーク状況調査を実施し、遅延等の問題の抽出を行った。また次年度に控えるシステムや端末更新のため、県域での協議等を重ねた。	ネットワークの改善、システム及び端末更新を進め、ICT教育環境を整える。	教育総務課	
				-	-	81.29	-						

KPI（重要業績評価指標）の評価													
施策	指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
				目標	実績	実績	実績						実績見込
				450	500	680	690	700	S：目標値を超えて達成	子どもがおはなしに触れる機会を増やすため「おたんじょうびのおはなし会（毎月1回）」を開催。新たな参加者の獲得につながった。また、20周年記念イベントとして絵本作家による読み聞かせライブ等を開催したため、目標値を大幅に上回った。課題としては、通常のおはなし会の参加者が減少していることと、おはなし会ボランティアが高齢化していることが挙げられる。	参加者を増やすため、町内幼稚園・保育園におはなし会の案内ポスターを配布する。また、おはなし会ボランティアの養成講座を開催する。	文化振興課	
(3) 地域の 子育て力強化	①経済的支援の充実	副食費助成対象人数	人	279	285	290	290	290	S：目標値を超えて達成	法定免除の対象者が増えたため、町単の補助対象が減少した。	3歳児から5歳児の保育所、町外の認定こども園、私立幼稚園入所児童が増えると、対象人数が増加する。児童発達支援等に通所する児童への補助は課題である。	こども未来課	
	②相談支援と情報提供体制の充実				314	330	331						346
	③すべての子どもの見守りと支援の推進	地域子育て支援拠点利用者数	人	4,807	11,211	11,379	11,504	11,619	11,735	A：80%～100%の達成	地域支援として、訪問型のひろば利用を開始したり、地域のボランティアと家庭を繋げる取り組みを行っている。R6年度よりこどもはぐくみ・交流センターとして駅前ビルで開所し、開所日数が週5から週7になったため、利用人数が増加した。	令和6年4月より保健センターにあった拠点を閉鎖し、田原本駅前ビル2階こどもはぐくみ・交流センター内に移転。子ども服等のリサイクルや貸しスペースでの住民の講座等開催など、子育て世帯の交流の場として運用している。	こども未来課
					ファミリーサポート登録者数（再掲）	人	32	56					
	児童相談件数	件	230	235	240	245	250	255	B：60%～80%未満の達成	取り組みとして、R6は保育士・幼稚園教諭への研修を行っている。相談実績は全体としては横ばいであるが、R5に比べ新規件数が増加しており、研修による効果（現場の人間が保護者や児童の声や変化に気付きやすくなった）の兆しが出ているものと思われる。	こども家庭センターの設置により母子保健と児童福祉を一体的に実施し、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図り、ヤングケアラー支援も注力していく中で子どもや子育て家庭の相談がセンターにつながるよう支援する。また、家庭訪問支援や親への子育て講座を子育て世代全体に行う等、虐待などの重症化を予防できるよう支援していく。	こども未来課	
			181	185	183	197							

田原本町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標4 暮らしを楽しむことができる「安心・安全まちづくり戦略」

数値目標の評価												
指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
			目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
自治会加入率	%	91.4	91 90.4	91 86.3	92 84.7	92 84.5	93	A: 80%~100%の達成	R5年度から加入率の算出を広報紙配布数から実際の加入世帯数に基づく数値に改めているが、年々加入率は低下する傾向にある。	R6年度から積極的に自治会に加入していない地域へ自治会設立等の説明会に出向くなど加入率の低下を抑制する取組に注力している。	総務課	
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	%	84.2	83 84.7	82 84.4	82 83.6	81 82.7	81	A: 80%~100%の達成	高齢者のADL自立の維持を目指し、地域の通いの場や健幸ポイント事業等での社会参加の支援や、地域包括支援センターによる個別支援を実施している。また、町民が自立した生活が送れるように町民への啓発や関係者向けの研修・個別支援等を実施したが、後期高齢者の割合が増加している影響を設けて、昨年度の比較すると要支援・要介護認定を受ける高齢者が増加している。	2025年問題を踏まえて、介護予防への意識改革が必要である。高齢者のADL自立の維持を目指し、介護が必要な状態に陥らないように、地域包括支援センターや健幸ポイント事業の参加を促す等介護予防の推進を図る。また、地域の実情に応じた住民主体によるサービス等の提供や生活支援の担い手となる高齢者等の社会参加をさらに促す。	長寿介護課	

KPI（重要業績評価指標）の評価

施策	指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
				目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
(1) 協働の まちづくり	①コミュニティ活動の 支援	青垣生涯学習センター・弥生の里ホールの利用件数	件	2,932	2,960	2,980	3,000	3,020	3,040	S: 目標値を超えて達成	・青垣生涯学習センター・弥生の里ホールでは年間を通して利用・貸館があり、ホールについては、近隣の施設の閉館等により利用者が増加しつつある。 ・建築後、20年が経過し老朽化が進み、保守管理などを継続していく必要がある。	文化活動の場として使用していただくことを目標としている。また、ホールを含めたセンター全体の維持管理を適切に行っていく。	文化振興課
					4,678	4,113	4,210	3,864					
	③行政と暮らしの デジタル化の推進	町内の体育施設の利用件数	件	4,405	3,100	4,630	4,710	4,790	4,870	A: 80%~100%の達成	R5実績とほぼ変わらず。平日（特に水・木曜日）の午前・午後帯の利用者数が伸び悩んでいる現状がある。	やすらぎ体育館の貸し出し終了に伴い、全体の利用数が微減すると予想される。改修を行うなど、環境を整え、利用者数を増やす取り組みを考えていく。	文化振興課
					3,724	4,427	4,486	4,592					
	連携協定等の件数(総数)	件	92	105	110	140	150	160	A: 80%~100%の達成	R6年度も新たな協定の締結があり、企業や団体等との連携の取り組みが展開されている。	今後も企業や団体等の知見を活用した課題解決を目指し、様々な分野での協定を進める。	企画財政課	
121				130	140	143							
行政デジタル化事業数	事業	3	4 4	5 7	6 10	7 10	8	S: 目標値を超えて達成	R6年度の新規のRPAでの業務削減時間は約184時間であった。1件当たりの入力に費やす時間が長い事務をRPA化することにより、効率性を大幅に上げることができた。	担当課におけるRPAの活用意欲を高めるため、先進自治体の活用事例などを職員向け研修等の場で説明するなど、職員のさらなるRPA活用意欲を促進する。	総務課		

KPI（重要業績評価指標）の評価

施策	指標名	単位	R2年度 基準	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 目標	R6年度の目標達成度 S・A・B・C・D	R6年度の取組評価 (成果、課題)	R7年度以降の取組方針	担当課	
				目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績見込						
(2) 健康と安全の まちづくり	①ヘルステックプロジェクト健康ポイント事業の推進	健幸ポイント事業参加者数	人	513	1,830	2,150	2,440	2,700 1,500	2,930 1,500	B: 60%~80%未満の達成	令和7年度より対象年齢が65才以上の介護予防を目的とした事業へリニューアルした。引き続き、情報発信により新規参加者の獲得に努める。	長寿介護課	
					1,830	1,888	1,928	1,323					
	③防災対策の充実	シルバー人材センター登録者数	人	245	257	270	272	275	278	A: 80%~100%の達成	広報紙へのチラシ折込等、周知を継続して行っている。本年度は新規会員の獲得、退会の抑制により努め、前年度に比べ会員数の増強を図ることができた。	シルバー人材センターの登録者増への取り組みとして、活動及び求人周知を継続していく。周知では活動内容や当センターで働く魅力等を発信していく。	長寿介護課
					250	251	261	273					
		いきいき百歳体操参加登録者数	人	539	1,000	1,015	1,030	1,045	1,060	B: 60%~80%未満の達成	いきいき百歳体操の会場の新規立ち上げ数は5団体であり、活動の場は広がっているが、高齢化に伴い、参加者は減少傾向にある。	いきいき百歳体操の普及啓発を進めていくと同時に、高齢化に伴い参加者が減少している団体への支援に努めていく。	長寿介護課
					704	738	779	745					
		タワラモトタクシー利用実人数	人	2,390	2,900	2,950	3,000	3,050	3,100	S: 目標値を超えて達成	R6年度から利用可能時間をタクシーの営業開始時間～午後8時へ拡大した。申請者数・利用実人数ともに過去最高となり、目標値を上回ることができたが、町単独事業でありながら、委託料が高額となってきたり、制度の見直しを検討する必要がある。	デマンド交通との棲み分けを踏まえながら、タワラモトタクシー利用券が必要な方に利用してもらえるよう、交付条件や自己負担額の導入等検討を行う。	企画財政課
					2,653	2,873	3,017	2,960					
		防災フェスタ来場者数【R6年度まで】	人	1,800	1,900	1,900	2,000	2,000	2,100	C: 20%~60%未満の達成	奈良トヨタ自動車等が実施する「アウトドア&防災フェスティバル」が開催されなかったことにより、田原本町単独で「田原本町防災ひろば」を開催した。イベントの規模が縮小したことにより来場者数は目標よりも減少がみられたが、防災イベントとしてクイズラリー等で防災意識の啓発を図った。今後も住民参加による体験型イベント等を実施し、防災意識の向上に努めていく。	令和7年度～令和11年度にかけて、指定避難所となっている町内各小学校において当該校区の住民が参加する避難所訓練を順次実施し、併せて一般向けに体験型防災イベントを実施することで、防災に関する情報発信や体験を通して地域住民へ災害への対策意識をもってもらえるよう、引き続き実施していく。	防災課
					2,500	0	500						
	防災ひろば来場者数【R7年度から】	人	R7年度から開始	-	-	-	500	500				防災課	
				-	-	-	370						
	自主防災組織登録数	団体	78	80	80	81	81	82	S: 目標値を超えて達成	新たに2自治会において自主防災組織を設立できた。今後は設立していない自治会に対して設置の支援等を行い、地域の防災意識の向上に努めていく。	昔から水害が多い地域では防災意識も高いため、設立済みであり、活発に活動している自治会が多い。それ以外の自治会に対しては、水害だけでなく、地震等の大規模災害の備えの重要性や、共助による減災例等を発信し、啓発活動を行っていく。	防災課	
				79	80	82	82						
	住宅耐震化率	%	86.1	89.7	91.4	93.2	95.0	96.7	A: 80%~100%の達成	耐震フォーラムの開催や能登半島地震による関心の高まりにより、無料耐震診断は28件、耐震改修補助制度を活用した住宅の耐震改修は7件の実績となった。	耐震に係る補助制度の対象拡大（耐震改修設計費を耐震改修補助対象に追加）等、制度の拡充を行うと共に、更なる周知・啓発を行う。	まちづくり建設課	
				87.9	88.9	89.8	90.2						